

6年生より

6年担任 保坂 司

6年生は「なる」ものではなく、「なっていく（育っていく）」ものだと考えています。最高学年になったという自覚と責任が、それまでなら忌避していた活動や行動をさせるのです。1年生のお世話、委員会活動やクラブ活動での推進役、運動会や学芸会で最高の発表を見せるという思い、難度の高い威臨太鼓の演奏…等、どれも強い責任感や大きな覚悟がなければできないものばかりです。赤坂小学校の6年生をすごいと思うのは、それらを全て高いレベルで達成してきたことです。しかし、それも結果に過ぎません。6年生が一番素晴らしいことは、普段の生活態度や生活習慣なのです。挨拶や返事をしっかりし、よい姿勢で授業に臨み、友達・仲間を大切に、努力し続ける…、日々の生活の積み重ねが、特別な行事等のときにも発揮されているだけのなのです。6年生は、特別に頑張ったという感覚はほとんどもっていません。いつも通りに楽しくやっていたら、すごいものができたという感覚なのです。6年生として十分成長しました。後は、その成果を中学校でも発揮するだけです。中学校での活躍を心から願っています。

3年生より

3年担任 奥村佑介

いよいよ3年生もあと少し、残すところ1か月となりました。学習もまとめに入っています。総合的な学習の時間では伝統工芸について学習しています。「茜草」という植物について、調べたりまとめたりしています。また体育の時間や休み時間には持久走を行いました。寒い中でも子供たちが元気よく校庭を走る様子が見られました。また、3年生は来年度からクラブ活動がスタートします。そのためクラブ見学を行いました。子供たちは、初めて見るクラブ活動に興味津々、釘付けになって見学していました。教室に戻ってきたときには、目を輝かせて「〇〇クラブに入りたい。」と意気込みながらいっていました。残り僅かとなりましたが、一日一日を大切に、立派に4年生になることができるよう指導していきます。



研究について

研究主任 窪木亜希子

今年度の校内研究は、昨年度に引き続き「論理的思考力を高める算数授業の追求」という主題で行いました。2年生から6年生までの5クラスで研究授業を行い、5月には講師の都留文科大学特任教授の滝井章先生による師範授業を4年生で行いました。昨年度の研究で、自分の考えを伝え合ったり、友達と考え合ったりする機会を多く設けた結果、「なぜかというところ…」と自分の考えをすすんで説明しようとする姿が多く見られるようになりました。今年度はさらに算数科ならではの表現方法である式や図・表・グラフ等と結び付けて思考し、説明できるようにするために、ペア・グループ学習と集団検討を効果的に活用して授業を展開していくことを目指してきました。ペア・グループ学習には、「ゼロから共に考える」「自力解決したことを発表し合う」「学んだことを理解できているか確認し合う」役割があります。その授業で何のためにペア・グループ学習を行うのかを明確にすることで、活動が充実すると考えました。その結果、自分の考えに自信がもてなかった子が、友達と意見交換をすることで自信をもてるようになったり、まったく考えが思い浮かばなかった子が友達の解き方を聞いて自分なりに解けるようになったりしました。今年度の研究を生かし、論理的思考力を高める授業を、そして「友達と共に学び合う楽しさ」を実感することができる授業をこれからも行っていきます。